第5回日本学校保健研修会in名古屋

養護教諭が行う健康教育の新たな方向性を探る

名城大学　曽山和彦

2011.7.25

1

人とのかかわり不足の子どもたち

環境の変化
- 情報化、スピード化
- 三間（時間、空間、仲間）の消失
- 核家族化　等

昔に比べ、人とのかかわり不足の子どもたち

だから、時々「オニの心」（曽山）が顔を出すのでは？

自分勝手な振る舞い、わがままな行為‥他

2

人とのかかわり不足が生む問題　1

- 子どもたちの社会性が弱まっている

ソーシャルスキル
（人づきあいのコツ、技術）（河村）

2極化した行動（諸富）
相手を消す（いじめ）か、自分が消える（不登校）

通常学級における気になる子の問題がクローズアップ

3

ソーシャルスキルを「教える」・「考えさせる」

- 10歳前後を境に、道徳性（大人に委任→自分で判断）、友人・母親関係（母への同調→友人への同調）が質的に変化する（川島）

10歳までは教える
10歳からは考えさせる

思春期からは「考えさせる」がなじむ

いつから、いつまで？

4

人とのかかわり不足が生む問題　2

- 子どもたちの自尊感情が低下している

Self-esteem
自己評価の感情（遠藤）。自分自身を価値あるものとする感覚であり、他者（身近な大人、友人等）の評価により育まれる

どうせ、ボクは‥

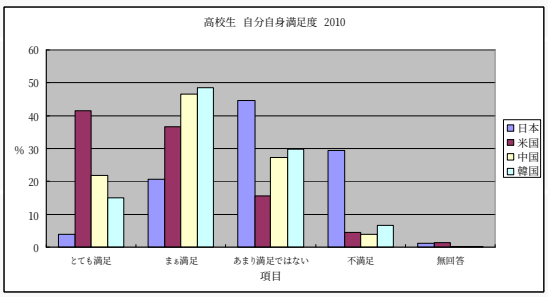
自分自身のみならず、他者の受け入れも困難

これもいじめ、不登校、気になる子の問題に影響

5

日本の高校生の自尊感情は？　1

炭鉱のカナリア現象（園田）
子どもがカナリアのように鳴いている

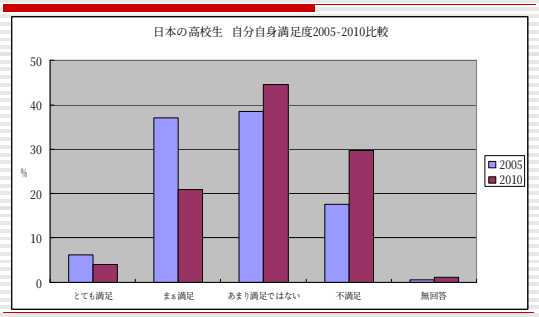


日本青少年研究所「高校生の心と体の健康に関する調査」

6

日本の高校生の自尊感情は？ 2

5年前に比べ、さらに低下



日本青少年研究所「高校生の心と体の健康に関する調査」

7

現代の子ども像と支援の基本方策

ソーシャルスキル、自尊感情の不足により、時々、“オニの心”が顔を出すのではないか

人は人の中で人になる

対人関係のコツ(技)を身につけ、自分に「OK！」と言えるよう、グループ体験等を活用する

気になる子には、より機会を多く

8

発達段階を考慮したソーシャルスキル＆自尊感情の育み方

＜10歳までは＞
・ソーシャルスキル育成→大人（親・教師）が教える
・自尊感情育成→大人（親・教師）が褒める

＜10歳からは＞
・ソーシャルスキル育成→本人に考えさせる
・自尊感情育成→友だちに褒めてもらう

＜全般＞
・全て大人（親・教師）がしてみせる（モデル）
・1日10回は声をかける（名前を呼ぶ等）

9

仲間関係の発達

- ギャングG；児童期後半。同一行動を前提とした一体感がもたらす親密さ。仲間集団の承認第一。男子に特徴的。
- チャムG；思春期前半。互いの共通点を言葉で確認。仲間内の秘密共有、誰かを仲間はずれにして集団の一体感を高める。女子に特徴的。
- ピアG；思春期後半。異質を認め合い、ぶつけ合い、他者との違いを確認し、自分の中のものを築き上げる。集団への出入り自由。自主性の尊重。

10

仲間関係発達から見る現代子ども像

- ギャングGの消失 ← 三間の消失
- チャムGの肥大化；仲間への強い同調性

11

現代の教師に求められること

児童期や思春期の発達課題をクリアしていない場合、甘えられる仲間関係の中での心理的な退行によるやり直しが必要。

子どもの仲間関係の発達課題を考慮しながら、集団活動を構成・展開する力が求められる。

12

養護教諭としてのアプローチ　1

子どものソーシャルスキル･自尊感情を育む

養護教諭の腕の見せどころ

個別、小人数対応の中でたっぷり言葉をかける
「人は愛されれば愛されるほど･･････」

(例) 気になる子には声をたくさんかけたい。しかし、担任は学級の中で大きな差をつけることはできない。だから････

すべての子どもがグローブを持っている

13

養護教諭としてのアプローチ　2

子どもの心に寄り添う

養護教諭の腕の見せどころ

個別カウンセリングに活かせる理論･技法を学ぶ
(精神分析理論、自己理論、ブリーフセラピー等)

(例) 理論を学ぶことで、「なぜ、あの子は指しゃぶりをしているのだろう？」に対する「I think」が出てくる

あの人が頷くだけで出る勇気

14

参考資料

カウンセリング (教育相談) 基本技法

これをマスターすれば、面接に自信がもてる

受容

繰り返し

明確化

支持

質問

15

養護教諭としてのアプローチ　3

子どもの状態を担任、保護者に伝える

養護教諭の腕の見せどころ

カウンセリング理論を活かし、伝わる言葉をかける
(アサーション理論等)

引き分けを目指す、時には漂う、手柄は相手に返す

相手の「鎧」を尊重する

16

参考資料

アサーションの定義と三つのコミュニケーションスタイル

- 定義；自他尊重のコミュニケーションスタイル

「受け身的」～相手を大切にしようとするが自分の気持ちや意見を大切にしないスタイル

「攻撃的」～自分の考えや意見が唯一絶対に正しいものであって、相手の気持ちはあまり重要ではないか、間違っていると決めつけて相手を大切にしないスタイル

「アサーション」～自分も相手も大切にするスタイル

17

おわりに

1. 新たな視座で実践更新を (前田)

2. 情熱だけでは難しいことがある
技が必要 (鹿嶋)

3. 一つだけでは
多すぎる (外山)

実践に、書物に････
お互いに学びましょう！

18

参考文献

- カウンセリングの理論、國分康孝、誠信書房
- 先生のためのやさしいブリーフセラピー、森俊夫、ほんの森出版
- 教室復帰エクササイズ、河村茂雄、図書文化
- 教師の実践する力を鍛える、前田勝洋、黎明書房
- 思考の整理学、外山滋比古、ちくま文庫
- 気になる子への対応術、会沢信彦・曽山和彦、教育開発研究所
- 時々、“オニの心”が出る子どもにアプローチ　学校がするソーシャルスキル・トレーニング、曽山和彦、明治図書

「学校におけるカウンセリングを考える会」
www.pat.hi-ho.ne.jp/soyama

19